基幹放送用周波数使用計画の一部を変更する告示案に対する意見及びそれに対する総務省の考え方

■意見募集期間：令和７年７月 26 日～令和７年８月 29 日

■意見提出件数：８件

受付順	意見提出者
1	日本放送協会
2	FM 補完放送対応端末普及を目指す連絡会
	個人（６件）

意見No.	意見提出者	提出された意見	総務省の考え方	提出意見を踏まえた案の修正
1	日本放送協会	今回示された告示案により、ＮＨＫもＡＭラジオの主たるＦＭ補完中継局を整備することが可能となります。引き続き、災害時における公共放送の使命を果たしてまいります。	本案への賛同意見として承ります。	無
2	FM補完放送対応端末普及を目指す連絡会	災害時における情報伝達手段の多様化・多重化は、重要かつ不可欠です。 NHKおよび総務省においては、民放ラジオ局と協力して、国民が正確な情報を確実に入手できるよう、radikoや新たな周波数帯を含むワイドFMの受信機普及について、周知・告知を一層拡充されるよう要望します	本案への賛同意見として承ります。 また、これまでも周知等に取り組んできましたが、放送事業者と連携しつつ、今後も引き続き取組を進めてまいります。	無
3	個人	令和7年5月19日付で拡幅された周波数である98.5MHzや98.9MHzを割り当てるようですが、個人的には、メーカー純正の車載ラジオのFMの受信周波数の上限が95.0MHzであるものも多いので、個人的には出来れば３～５年待つか、95.0MHz以下の周波数を割り当ててほしい気がします。 総務省としては、令和7年5月19日付で拡幅された周波数を割り当てたいというのは理解できますので、98.5MHzや98.9MHzでの運用が始まった場合は、98.9MHzまで受信きる受信機が必要な事を総務省やNHK、自治体が周知に努めてほしいと思います。	本案への賛同意見として承ります。 また、これまでも周知等に取り組んできましたが、放送事業者と連携しつつ、今後も引き続き取組を進めてまいります。	無
4	個人	基幹放送用周波数使用計画の一部を変更する告示案から日本放送協会が主	本案への賛同意見として承ります。	無

		たるＦＭ補完中継局に使用できる周波数の追加について、原案通り適当であると考えられます。 　他の地域でもＡＭ親局・中継局が津波の浸水想定地区もしくはそれに準じたものに相当するものであれば早期の周波数の追加を望むところです。		
５	個人	改正案に賛成する。 　ただし､今回はじめて95MHzを超える周波数が比較的規模の大きい中継局に割り当てられることから、対応受信機等についての周知広報が十分に行われるようNHKや家電メーカー各社に要請されたい。	本案への賛同意見として承ります。 　また､これまでも周知等に取り組んできましたが､放送事業者と連携しつつ､今後も引き続き取組を進めてまいります。	無
６	個人	改正案自体には賛成するが､NHKはワイドFMに関する広報活動が民放と比べて消極的であるように感じる。 　総務省には､NHKに対しワイドFMについての周知広報活動を十分に行うよう要請することをお願いしたい。	本案への賛同意見として承ります。 　また､これまでも周知等に取り組んできましたが､放送事業者と連携しつつ､今後も引き続き取組を進めてまいります。	無
７	個人	このFM中継局の設置について､NHKが設置するのではなく､設置される県別に、山陽放送、山口放送、四国放送の3つの民放に割り当てていただきたいと思います。 　理由は、NHKは昨年の衆議院選挙での開票速報で裏金と報じず不記載と報じ、さらに民放が裏金マークなどをつけて問題のある候補者をわかりやすく伝えてくれるのに対し､NHKはそれをしなかったなど､受信料を支払う必要があるにもかかわらず、明らかに保守に偏向した報道ばかりを行うためです。なので、より中立な報道をしていただける、民放に割り当てていただくことを強くお願い申し上げます。	本件は、災害発生時にNHKのAMラジオ放送の親局において放送の継続が困難となる事態に備え､FMラジオ放送による補完を通じて放送の継続を可能とすることを目的とした変更です。 　なお､山陽放送､山口放送､四国放送は､ワイドFMの中継局をすでに運用中です。	無
８	個人	この件は災害対策として重要なので賛成。ただし､95MHz止まりのFMラジオ受信機が依然として多く、各放送事業者が95.0～98.9MHzで開局する際には99MHzならびに108MHzに対応したFMラジオが必要であると周知徹底を図ってほしい。	本案への賛同意見として承ります。 　また､これまでも周知等に取り組んできましたが､放送事業者と連携しつつ､今後も引き続き取組を進めてまいります。	無

（注意事項）改正案に、実質的な内容の変更をもたらさない形式的な修正を行いました。